

さっぽろ ヒグマフォーラム2022

SAPPORO BROWN-BEAR FORUM 2022

テーマ

これからのヒグマ対策
～ゾーニング管理による共生を目指して～

参加 **無料**

定員 **300名**

要申込

(応募者多数の場合は抽選)

開催
日時

2022 **2/26** (土) 14:00～16:30

開催
方法

オンライン開催 (Zoom ウェビナー)

講演者

- ・酪農学園大学野生動物生態学研究室 佐藤 喜和 氏
- ・秋田県自然保護課ツキノワグマ被害対策支援センター 近藤 麻実 氏
- ・NPO法人EnVision環境保全事務所 早稲田宏一 氏 ほか

参加
申込

参加希望の方は、下記申込フォームよりお申込み下さい。
https://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/events/jouhou/forum_uketsuke.html

申込期間：2022年2月3日(木)～2月17日(木)

抽選結果はご登録いただいたメールアドレス宛にお知らせいたします。



主催 **札幌市**

問い合わせ

札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課
TEL：011-211-2879 FAX：011-218-5108



PROFILE



さとう よしかず
佐藤 喜和 氏

酪農学園大学
野生動物生態学
研究室 教授

1971年（昭和46年）、東京都生まれ。北海道大学農学部卒業後、東京大学大学院博士後期課程修了、博士（農学）。日本大学生物資源科学部准教授などを経て現職に至る。1998年（平成10年）から北海道浦幌町を中心に白糠丘陵に生息するヒグマの生態と保護管理に関する研究を行っている。また、2014年（平成26年）から札幌市に生息するヒグマの研究や市街地侵入防止のための河畔林整備活動などの市民活動も行っている。

日本クマネットワーク代表、浦幌ヒグマ調査会事務局長、北海道ヒグマ保護管理検討委員、さっぽろヒグマ基本計画改定検討委員会委員。



こんどう まみ
近藤 麻実 氏

秋田県自然保護課 主任
ツキノワグマ被害対策
支援センター

1984年（昭和59年）、三重県生まれ。岐阜大学農学部卒業後、同大学大学院連合獣医学研究課博士課程在籍中に北海道立総合研究機構（道総研）へ就職。

学生時代はツキノワグマの生態調査や管理計画策定のための個体数推定に関わったほか、道総研ではヒグマの保護管理に関する研究や普及啓発を行っていた。

2020年（令和2年）に秋田県庁に入庁し、現在は東北で初めてのクマ対策専門職員として、ツキノワグマによる事故の原因調査や、被害を防ぐための普及啓発に取り組んでいる。



わせだ こういち
早稲田 宏一 氏

NPO法人EnVision
環境保全事務所
研究員

1974年（昭和49年）生まれ。北海道大学在学中に、苫小牧地域において捕獲されたヒグマに発信器を付け追跡調査研究を実施する。以後、行政機関からの委託等を中心にヒグマ・エゾシカ等野生動物の調査研究・被害対策・普及啓蒙活動に携わる。

現在、札幌市のヒグマ出没対応や対策に従事するほか、小学生等を対象にした「ヒグマ講座」講師も担当している。北海道ヒグマ保護管理検討会委員、さっぽろヒグマ基本計画改定検討委員会委員。

MSPとは、藻岩高校2年生が総合的な探究の時間の一環として実施している、南区の持続可能なまちづくりに取り組む活動である。

令和元年度から始まった、ヒグマを市街地に寄せ付けないための取組について、令和3年度の活動報告をしていただく。



市立札幌藻岩高等学校

MSP
ヒグマグループ
「困ったくま」

TIME SCHEDULE

14:00 開会
↓
14:05 札幌市あいさつ

14:05 東区の出没事案に関する報告及び
↓
14:15 今後の対策方針について（札幌市環境局）

14:15 ゾーニング管理に基づいた
↓
14:30 ヒグマ対策（早稲田 宏一 氏）

14:30 札幌市におけるヒグマ対策
↓
14:40 （札幌市環境局）

14:40 クマ対策、秋田県の新たな一歩
↓
15:00 （近藤 麻実 氏）

15:00 都市部にヒグマが
↓
15:20 ～その背景と今後に向けて～
（佐藤 喜和 氏）

----- 休憩（15分） -----

15:35 地域主体の取組（MSPの活動について）
↓
15:45 （市立札幌藻岩高等学校
MSPヒグマグループ「困ったくま」）

15:45 総合討論会
↓
16:25 （座長：佐藤 喜和 氏）

16:25 閉会
↓
16:30

